

支部だより

Newsletter No.60

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会
中部支部

〒460-0003

名古屋市中区錦三丁目7番9号
(太陽生命名古屋第2ビル8F)

TEL.052-971-5310



目次

支部長 新年挨拶	1
幹事長 新年挨拶	1
中部地方整備局長 新年挨拶	2
第75回 日本道路建設業協会 中部支部 定時総会・役員・委員会紹介	3
中部地方整備局・県・政令市との意見交換会(本部)	4
中部地方整備局実務者との意見交換会(支部)	5
ネクスコ中日本(株)との意見交換会	5
若葉だより	6
アスファルト舗装技術に関する講習会	10
舗装施工管理技術者講習会	10
道路建設技術講演会	11
コンプライアンス講習会(暴力団排除に関する講習会)	11
ICT舗装現場見学会	12
i-Construction技術講習会	12
建設技術フェア2023in中部(学生交流ひろば)	13
安全パトロール(安全委員会)	13
中部緊急防災協会 令和5年度 通常総会	14
中部緊急防災隊式典	14
防災訓練	15
大規模津波防災総合訓練	15
日本道路協会 道路功労者表彰伝達式	16
道建協の社会・環境貢献活動	16
会員だより・編集後記	17
道路開通・国道23号中勢バイパス(三重県鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町)	

■表紙写真

道の駅制定30周年

中部ブロック初回登録15駅

〈長野県〉

- 1 日義木曾駒高原
- 2 大桑
- 3 奈良井木曾の大橋

〈岐阜県〉

- 4 美並
- 5 パスカル清見
- 6 明宝

〈岐阜県〉

- 7 花街道付知
- 8 美濃白川

〈静岡県〉

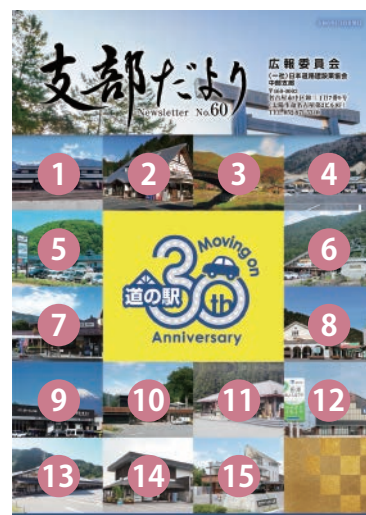
- 9 富士

〈愛知県〉

- 10 豊根グリーンポート宮嶋
- 11 鳳来三河三石
- 12 田原めっくんはうす

〈三重県〉

- 13 飯高駅
- 14 菰野
- 15 紀宝町ウミガメ公園



新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様には幸多き新春を迎えられお喜びを申し上げます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年はコロナウィルスが5類相当になり経済活動も活発化され、アフターコロナの対応で皆様のお会社も慌たじかつたのではないのでしょうか。世界的にはロシアのウクライナ侵攻が終息しない状況で、イスラエル・パレスチナ問題が発生し、世界情勢が混沌としており、この先がどのように推移していくか心配なところで有りました。原油高によるエネルギー価格の高騰、円安による輸入原材料の高騰など経済の先行きが一昨年と同様に不透明な一年となりました。

そうした状況の中、支部活動行事は縮小、中止することもなく総会、中部地方整備局、NEXCO中日本との意見交換会、道路建設技術講演会など対面での行事も予定通り行いました。会員各社の皆様には大勢出席していただき、感謝いたします。

公共工事の予算は、「改正国土強靱化基本法」が成立し「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速対策」後も投資を続けられる枠組みができ、より道路ネットワーク整備、防災・減災対策、老朽化対策等の整備が推進されることとなりました。

NEXCO3社においても事業規模約1兆円の更新計画を試算されました。

また、気候変動の影響を受けた自然災害の激甚化、インフラの老朽化など予想だにせぬ災害に対して、我々の業界に対する国民の期待も高まっています。一方、建設許可業者の減少、就業者数の減少、倒産社数の増加と大きな課題を抱えています。

私たちは社会の期待に応えるべく業界発展のために、働き方改革の推進と企業の成長の両立を目指し、生産性の向上、業務の効率化、ITの活用、健全な労働時間、担い手の多様性などさまざまな取り組みを継続かつ積極的に推し進めていかなくてはなりません。また4月からの時間外労働の上限規制を踏まえて、CCUSの活用、週休2日の確保等に取り組み、魅力ある業界づくりを進めて行かなければいけないと思っております。

2024年は辰年です。天高く昇る竜に守られ、「強運」「お金に困らない」年。また、創造性と情熱を持ち、勇気と自信を持って夢を追い求める年でもあります。

今年一年、皆様ご協力のもと道路建設業協会が夢を与えることができ、皆様が向上できる年となるように精進して参ります。最後になりましたが、会員各社様にとりまして、2024年が幸多き一年で有りますことを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



支部長 山縣 裕
(NIPPO株式会社中部支店 執行役員支店長)



新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様には晴れやかな新春を迎えられお喜びを申し上げます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの収束が進み、5月には感染症法上の位置づけが5類へと移行され、様々な制限が解除されることで平穏な日常生活や社会・経済活動を取り戻した年といえるのではないのでしょうか。一方、ロシアによるウクライナ侵攻、原油高によるエネルギー価格の高騰、円安の影響による物価高騰などは継続しており、経済においては、まだまだ厳しい状況が続くものと考えられます。

我々道路建設業界は、人々の日常生活や経済活動を構成するといえる重要な役割を果たしており誇るべき仕事ではありますが、担い手不足や高齢化等の様々な課題を抱えています。4月からは「時間外労働の上限規制」の猶予期間が終了し、規制が適用されます。あと3ヶ月しか残されていませんが、IOTやICT活用による省人化による業務の効率化や生産性の向上を図ることで、労働環境改善を実現させ、人材不足や長時間労働といった問題を解決することで、魅力のある働きやすい労働環境を構築できるよう会員一丸となり取り組んでいきましょう。

2024年は甲辰年です。「甲」は、十干(じっかん)の最初の文字で、物事の「はじまり」を象徴します。「辰」は、万物が成長し動きが盛んになる様子を象徴することから、「上昇し、勢いを増しながら成長していく」年だと言われております。道路建設業協会においても大きな成果の上がる年となるよう皆様のご協力をお願い致します。

会員各位ならびに関係者の皆様方にとりまして、素晴らしい年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

幹事長 両角 勝夫
(大成ロテック株式会社中部支社 執行役員支社長)



新年 挨拶



国土交通省
中部地方整備局長
佐藤 寿延

令和6年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一般社団法人日本道路建設業協会中部支部の皆様におかれましては、日頃より中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

中部圏は、人口、面積等は全国の1割強を占めていますが、製造品出荷額は27%と、全国一となっているとおり、ものづくりに特化した地域ともいえます。中部圏の道路は、産業を支えるという役割もあり、かつ、東西交通の要路ともなっており、道路に求められる期待は大きい地域と考えています。

本年は、国道23号蒲郡バイパスの2車線全線開通、東海環状自動車道の西回り区間の一部開通など、管内において約50kmの新たな交通ネットワークが誕生します。国民の命と暮らしを守り、中部圏経済の持続的な成長を支えるインフラ整備を着実に進めることで、中部地方に大きな変革と更なる成長がもたらされることを願ってやみません。

4月から時間外労働の上限規制が適用されます。建設業界にとっては激動とも言えるターニングポイントとなりますが、中部地方整備局としましても、労働環境の継続的な改善、DXの更なる加速をとおして、これを乗り越え、建設業の魅力回復、担い手確保に全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとって、幸多き年でありますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



第75回 日本道路建設業協会 中部支部 定時総会

5月25日にメルパルク名古屋で第75回定時総会が開催されました。新型コロナウイルスも5月8日に五類へ移行したこともありコロナ禍前の様相での議事進行となりました。

令和4年度の決算と事業計画についての承認と令和5年度の事業計画と収支予算等を審議しました。

具体的な事業計画の内容は働き方改革に向けた取り組み、国や自治体などの発注機関との意見交換会の開催、i-Construction事業の推進、コンプライアンス講習会などが盛り込まれました。

また、NIPPO執行役員中部支店長・山縣裕氏の新支店長就任を承認しました。

挨拶で山縣支部長は「建設業は社会資本整備を通じて地域の発展を支え、災害時の活動により地域の安全・安心を守る使命があり我々に対する期待が高まっている。一方では担い手確保や就労環境改善など課題が山積している。働き方改革の推進、道路整備の推進など会員各社の意識向上に加え、発注機関と意見交換をしながら課題解決を図っていきたい」と述べました。



■支部役員

役員	氏名	会社名	役職
支部長	山縣 裕	(株)NIPPO 中部支店	執行役員支店長
幹事長	両角勝夫	大成ロテック(株) 中部支社	執行役員支社長
幹事	糸川和孝	鹿島道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	國島太佳生	(株)市川工務店	常務取締役
〃	櫻井 真	福田道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	中川雄一	日本道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	中野谷眞己	大有建設(株)	取締役常務執行役員建設事業本部長
〃	難波陽一	中部土木(株)	代表取締役社長
〃	秦 純二	朝日土木(株)	会 長
〃	平井美次	中村建設(株)	常務取締役
〃	淵上 修	(株)ガイアート 中部支店	執行役員支店長
〃	松居 広	岐建(株)	常務取締役名古屋支店長
〃	松本辰男	世紀東急工業(株) 名古屋支店	執行役員支店長
〃	峯崎賢司	前田道路(株) 中部支店	執行役員支店長
〃	宮内友孝	(株)佐藤渡辺 中部支店	支 店 長
〃	森 俊二	大林道路(株) 中部支店	常務執行役員支店長
〃	吉田和博	東亜道路工業(株) 中部支社	常務執行役員支社長
会計監事	梶原謙彰	三井住建道路(株) 中部支店	理事支店長
〃	住友哲也	花菱建設(株)	代表取締役社長
顧問	尾出 清	(株)NIPPO 中部支店	参 事

■委員会:委員長・副委員長

委員会名	委員長	副委員長
企画運営委員会	山縣 裕	両角勝夫
作業部会	尾出 清	間宮敏博
働き方改革実行委員会	中川雄一	森 俊二
建設コスト委員会	両角勝夫	帯川靖洋 森 俊二
環境委員会	峯崎賢司	櫻井 真
技術委員会	吉田和博	糸川和孝
安全委員会	淵上 修	宮内友孝
広報委員会	松本辰男	中川雄一
防災委員会	山縣 裕	両角勝夫



中部地方整備局・県・政令市との意見交換会（本部）



支部総会后、中部地方整備局、岐阜、静岡、愛知、三重の4県及び静岡市、浜松市、名古屋市の3政令市と日本道路建設業協会の意見交換会をメルパルク名古屋で開催しました。中部地方整備局からは稲田局長を始め9名、4県・3政令市からは7名、道建協本部から西田会長を始め8名、中部支部から山縣支部長を始め19名が出席しました。

冒頭の西田会長の挨拶では、減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の確実な実施と、今後の道路整備や維持管理・更新を引き続き進めるための予算の確保を要請。11年連続で設計労務単価がアップしたことに触れ、これを建設技能者の処遇改善や担い手の確保・育成につなげたいと語りました。社会貢献活動の一環で取組んだ、災害時の防災拠点にもなる道の駅に小型発電機を贈る取組みは昨年度で終了したことを報告。中部地方整備局の協力を感謝の意を表すとともに、本年度からは道の駅で子育て応援施設を支援していくと話し、連携強化を要請しました。

続いて、稲田中部地方整備局長からは、各地で土砂災害や地震が発生する中、道の駅への小型発電機の寄贈で安全性が高まったと感謝。子育て応援施設への支援も期待しているとしました。道路事業については、今後4年間の開通見通しや設楽ダム関連の道路

事業量などに触れ、継続的な予算確保に対する思いは地域と同じと強調。担い手確保や働き方改革など課題解決へ忌憚ない意見交換をしたいと話しました。意見交換会では、公共工事予算の安定的・持続的な確保、道路舗装工事における労働環境の改善、道路舗装工事におけるi-Pavementと新技術開発の推進と普及、入札・契約制度の改善、工事積算の改善、道路舗装のメンテナンスサイクルの確立、道路空間の環境改善をテーマに要望を行いました。道路舗装工事における労働環境の改善については、4県と3政令市からも回答を頂きました。



中部地方整備局実務者との意見交換会（支部）

中部地方整備局と日本道路建設業協会中部支部との意見交換会を12月12日にKKRホテル名古屋で開催しました。

中部地方整備局からは堀技術調整管理官を始め11名、中部支部から山縣支部長を始め28名が出席し整備局の実務者と活発な意見交換を行いました。

意見交換会では、公共工事予算の安定的・持続的な確保及び舗装工事の発注件数の継続的な確保、技術者の有効配置のための入札から落札決定までの期間短縮、1級舗装施工管理技術者の配置に係る変更の柔軟化、「歩掛り見積徴収方式」「資機材価格見積徴収方式」を採用する場合の見積提出期限の緩和、適切な条件明示の徹底と契約変更、追加工事の適切な協議・指示と合計性、時間外労働上限に関する発注者の理解と協力、企業のBIM / CIM導入に係る税制優遇措置、補助金、低利融資等の積極的広報等について要望を行いました。

中部地方整備局からは、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図るため令和6年度以降も必要な予算の確保に努める、技術資料と入札書を同時に提

出す同時提出型は手続期間が長くなるが事前に提出する工事施工内容確認資料をヒアリングに代えることで手続期間の短縮を図っている、1級舗装施工管理技術者の変更回数拡大については品質確保を前提としつつ検討を進める、「歩掛り見積徴収方式」「資機材価格見積徴収方式」の場合は通常の発注手続より提出期限を長くしており依頼によってはさらに長くすることも可能、工事を追加する予定がある場合は受発注者対等の立場で協議を行うもの、2024年4月から建設業界にも適用される残業時間の上限規制を踏まえ「ウィークリースタンス実施要領」取りまとめHPに掲載している、BIM / CIMに対する費用は見積で計上できるよう対応している等と回答がありました。



ネクスコ中日本(株)との意見交換会

中日本高速道路(株)名古屋支社との意見交換会を12月22日ネクスコ支社会議室で開催しました。

中日本高速道路(株)名古屋支社からは、水門環境・技術管理部長、落合建設事業部長他4名、道建協支部から山縣支部長、両角幹事長他6名が出席しました。

意見交換会の議題については、現場の生の声を伝えるべくアンケート調査を行って決定しました。

当支部からは集中工事、通常規制での舗装工事、働き方改革、提出書類の削減、遠隔臨場について各々課題を提示し、要望を行いました。働き方改革

については、発注者、受注者ともに今後どのような課題が出てくるか分からない部分が多いので両者でリカバリー策を一緒に考えていく必要がある、遠隔臨場については向き・不向きの工種はあるものの今後は不向きなものに対しても導入していく必要がある等の回答がありました。

当方からは本日の意見交換会での回答や情報提供を今後活かしていきますので、引き続きこのような意見交換の場を継続していただきたいと依頼し終了しました。



若葉だより

WAKABA DAYORI

取材班
メンバー
紹介

上田千秀緑	大林道路株式会社 中部支店
尾崎由美子	株式会社佐藤渡辺 中部支店
原田夕子	株式会社NIPPO 中部支店
畔地真美	日本道路株式会社 中部支店
渡邊麻香	(一社)日本道路建設業協会 中部支部

これまで道路業界の女性にとって働きやすい労働環境を整えるべく、“サクラだより”として現場の女性職員の声をインタビューしてきましたが、今後は女性に限らず若手職員インタビュー“若葉だより”に切替え、若者がやりがいや魅力を感じる職場環境を探りお伝えしていきたいと思ひます。



Interview

1

最初の現場は・・・ 太啓建設(株) 豊田出張所管内維持修繕工事



ゴトウ ヒロト
後藤 寛斗 さん

所属 土木部
舗道維持課

経歴
(入社3年目)

高等学校(普通科)→工場勤務→
専門学校(土木課)→太啓建設(3年目)

Q. この仕事を選んだ理由は何ですか？

高校卒業後は工場に勤めましたが、一つのことを繰り返す作業よりも、自分にはこの業界のように、作業が同じでも環境が変わったり日々違うことをするほうが向いていると思い転職をしました。また父が建設業を営んでいるので、幼いころからこの業界に興味を持っていました。

Q. この仕事の魅力は何ですか？

同じものを作るにしても同じ作業の繰り返しではないので、日々勉強になって楽しいです。また自分が施工した物が地図に残ることや、近隣住民から直接感謝されることもあるので、嬉しいです！

休日の
過ごし方



休日はサッカー観戦をしに
全国各地へ出かけます！
頑張れグランパス！

Q. これからの目標はなんですか？

コンクリート技士などの資格を取得したいです！

Q. この業界で働く若手を増やしていくためには？

建設業においては、3K(きつい・汚い・危険)から新3K(給与・休暇・希望)を目指しています。ですが、まだまだ悪いイメージを払拭できていないと思ひます。私自身、現場がきつと感じたことはないのですが、それはこの業界に付いてしまってる元々のイメージであり、インターンや現場見学を通じて実際に体感してもらえればこの業界の良さが伝わるはず。また、余裕のある工期を設定することで安定した休日を確保でき、より働きやすい現場作りができると思ひます。



同じ業界で働く若手へメッセージ

建設業は、簡単な仕事ではないと思ひます。ですが、大変な思いをした分完工した時の達成感は大きくなります。特に公共工事では、自分が携わった構造物を多くの人々が利用しているのを見ることができるので、よりやりがいを感じられると思ひます。現場は常に危険と隣り合わせですが、一人一人の安全意識を高め、現場内でコミュニケーションをとることで、災害を減らすことができると思ひます。ご安全に！

若葉さんへ メッセージを頂きました



西村所長

後藤さんは会社に勤め3年目になりますが、段々自分の得意不得意な部分が見えて来ていることだと思ひます。不得意な部分を改善し、様々な作業で対応出来るのは大切ですが、自分が得意な分野を突き詰め、この分野では誰にも負けない！という気持ちを持つことが仕事に対するモチベーションの向上と自信につながると思ひます。疑問に思っただことは一人で考え込むのではなくどんどん質問してください。これからの成長に期待しています。ご安全に！

Interview

2

続いて・・・ 大林道路(株) 令和4年度 23号蒲郡BP五井トンネル舗装工事

所属 中部支店
三河営業所



ヨコ ヤ ユウ ナ
横谷 優奈 さん



ナカ イツ カ ノン
中逸 伽音 さん



コウ タニ ユウ キ
幸谷 宥毅 さん

Q. この仕事を選んだ理由は何ですか？

横谷：道路会社に入社した友人の話に興味を持ち、この仕事を選びました。

中逸：大学時代にサークルで行ったカンボジアでの建築ボランティアを通してものづくりに魅力を感じたからです。

幸谷：土木を大学で勉強してきた、誰もが安心して利用できる道路空間を作ることに関わりたと思ったからです。

Q. 働いてみて感じたギャップはありますか？

横谷：思っていたより事務仕事が多かったです。

中逸：想像以上に日焼けをしました。

幸谷：「今の業界は3Kではない」と聞き疑いましたが、実際に働いてみたところその通りでした！

作業状況



Q. これからの目標はなんですか？

横谷：今の現場を竣工まで見届けたいです。

中逸：いつか空港の滑走路の現場に関わりたいです。

幸谷：施工管理の資格を取得できるよう頑張ります。

Q. 趣味・休日の過ごし方は？

横谷：近所のごはん屋さんを開拓したり、家で友人と通信してゲームをしたりしています。

中逸：好きなアイドルのライブや舞台を見に行きます。

幸谷：中学生のころから文房具が好きで集めています。自分へのご褒美で最近では地域限定の万年筆用ボトルインクを集めています！



Q. この業界で働く若手を増やしていくためには？

残業をできるだけ少なくしてプライベートも充実させられる環境づくりが必要だと思います。



寺本 所長

若葉さんへ メッセージを頂きました

国交省の新設舗装工事の現場に従事し有意義な経験が出来ていると思われます。今後も様々な疑問点やわからないことが出てきますが、先輩達に尋ね解決するようにしてください。現場での繰返しの業務を行うことで、ひとつひとつ習得し自信に繋がると思います。現場での業務が楽しく感じられるよう、色々なことに興味を持って取り組んでください。

Interview
3

続いて… (株)NIPPO

名神高速道路(特定更新等)小牧IC～大垣IC間(下り線)舗装補修工事(2023年度)

Q. この仕事を選んだ理由は何ですか？

学生時代に東日本大震災の被災地を見学し、実際に地元の方から道路がすぐに復旧したから復興が早まったという話を聞いてインフラ・道路の必要性を実感して、モノづくりに携わっていきたく感じたため選びました。

Q. この仕事の魅力は何ですか？

図面から道路や構造物が出来ていく過程と完成物を見られることです。完成後に自分の車で道路を走るとやりがいを感じますし、家族や友人と自分が携わった場所を通った時に褒められると嬉しいです。



早川 秀明 さん

所属 名神小牧大垣
舗装工事事務所

Q. 働いてみて感じたギャップはありますか？

「夜間=きつい」というイメージがありましたが、前の所長が「みんなが気づかない間に直すなんて、隠れて支えている感じが忍者のようでかっこよくないか?」と言われ「確かに」と思い、今は楽しく夜間に従事しています。

Q. これからの目標はなんですか？

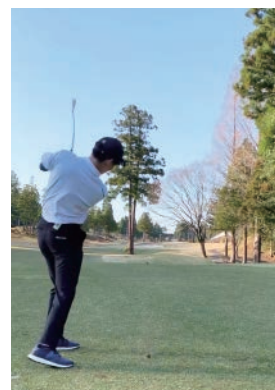
一級土木施工管理技士や舗装管理などの資格の取得を目指しています。



「夜間=きつい」
のイメージが
変わった

Q. 趣味・休日の過ごし方は？

今ゴルフにはまっています。自然を感じられる場所にいくと気持ちいいのでリフレッシュにもなっています。他にドライブしたりSNSで見つけたおいしいそうなものを友人と食べにいたりしています。去年同じ現場にいた先輩がキャンプにはまっていたので一緒にテント泊キャンプもしてきました。



Q. この業界で働く若手を増やしていくためには？

責任感がありやりがいがある仕事ですが、責任を感じすぎてしまう人もいますので、若手の失敗に対し、周りからしっかりとしたフォローがあると安心して働けるとと思います。

同じ業界で働く若手へメッセージ

楽しいことばかりではない仕事ですが、人のためになるやりがいのある仕事なので頑張ってください！



高橋 課長

若葉 さんへ メッセージを頂きました

供用している高速道路上で、規制内と言えども安全には細心の注意を払わなければならない中、タイムテーブル管理や品質管理を行っているのは、体力的にも精神的にも大変な仕事ですが、名神高速道路という「日本の大動脈」を修繕しているという誇りをもって、ユーザーに満足していただける確かなものづくりを目指していきましょう。

Interview

4

最後の現場は・・・ **日本道路(株)** **令和5年度 高速2号東山線他舗装修繕工事(第3工区)**

Q. この仕事を選んだ理由は何ですか？

人が生活する上で必要不可欠なものを作る仕事に携わりたいという思いから、社会インフラを支える道路に興味を持ち、土木施工管理技士を志しました。学生時代、建築を学んでいたのですが、その中で建築物よりそれを支えている地盤の方に興味を持ったことが土木にかかわる最初のきっかけでした。



クロダ ナツキ
黒田 夏希 さん

Q. この仕事の魅力はなんですか？

大勢の業者さんと一緒に、一体になってひとつのものを作り上げるところです。



Q. 仕事中心に心掛けていることは？

誰がやってもできるどんな仕事の中にも、やりがいを見つけ楽しむことです。

Q. これからの目標はなんですか？

二級土木施工管理技士に合格することです！

所属 中部支店
名古屋営業所



Q. 趣味は何ですか？

映画鑑賞をしながら、タブレットPCで絵を描いています。なんでも描きますが、最近 は建物や風景が多く、映画の中のいいなと思った家具を描くこともあります。

Q. この業界で働く若手を増やしていくためには？

土木業界は3Kのイメージがまだまだ強いと思います。現場での3K改善への対策や取り組みをもっと知ってもらえる機会を増やすことが重要だと思います。私はコロナ渦での就活だったので、ほぼオンラインで話を聞くだけでしたが、これからの就活では直接現場を見る機会が増えれば、より良くなると思います。

同じ業界で働く若手へメッセージ

会社や職種が違ったとしても、同じ業界で働く仲間だと思っています。一緒に頑張りましょう！



若葉 さんへ **メッセージを頂きました**

高速道路の集中工事において、チームの一員として活躍してくれています。社会人1年目でまだ分からないことが多いとは思いますが、今経験していることはすべて貴重な経験となって一つ一つが自信へと繋がっていきます。まずは今の現場を無事故で良いものをつくり上げるために、チーム一丸となって取り組んでいきましょう。期待しています。

平野 所長

最後に・・・ 「サクラだより」から「若葉だより」に変わりましたが、いかがでしたでしょうか？

2024年に残業規制が改正されるように、この業界もより一層働き方改革へ向けて動いていかなければなりません。若者のリアルな声を皆様にご覧いただき、業界全体の更なる発展に繋げていければと考えております。今回取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

取材陣一同

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会・日本道路建設業協会中部支部



愛知県アスファルト合材協会と日本道路建設業協会中部支部は7月26日、名古屋ガーデンパレスで「2023年度アスファルト舗装技術に関する講習会」を開き、両会員企業より約150名が参加し脱炭素化の動向などを学びました。

冒頭、愛知県アスファルト合材協会技術管理委員会の櫻井正典担当理事が「道路舗装業界は原油高や電力料金値上の影響により製造コストが高止まりの現状にある。公共事業の予算確保などに期待している。地域の守り手である道路舗装業界は、国民生活を支える基礎的なインフラである道路が被災時でも機能を維持出来るように努める使命がある。担い手確保や働き方改革を進め、若者から選ばれる魅

力ある業界にしたい。」と挨拶されました。

講習会は、大竹庸則中部地方整備局道路部道路管理課長から「道路をめぐる最近の話題」、呉悦樵日本改質アスファルト協会技術委員会委員から「脱炭素社会に寄与するポリマー改質アスファルトについて」、後藤和也愛知県環境局地球温暖化対策課主査から「カーボンニュートラルの実現に向けた愛知県の取組」、樋口恵一大同大学工学部建築学科土木・環境専攻准教授から「身近な道路交通手段の近未来」と題して4名の講師により行われました。



舗装施工管理技術者講習会

日本道路建設業協会は8月30日、名古屋デザインホールで舗装施工管理技術者を対象とした技術講習会を開催し、中部支部会員企業から約90人が会場参加しました。

冒頭、中部支部の山縣裕支部長は「企業活動だけでなく、国民生活にも影響を及ぼしているエネルギー資源の高騰に加えて、技能労働者の減少が大きな課

題である建設業は、生産性の向上や就業環境の改善が求められている」と訴え、本講習会を「最新技術知識を習得する機会として、現場に生かしてほしい」と呼び掛けました。

続いて、中部地方整備局道路部の松岡龍治道路保全企画官が「道路をめぐる最近の取り組み」をテーマに講演した他、日本道路建設業協会の中村則義氏が「舗装工事の安全対策」と「建設副産物対策」、板東芳博氏が「舗装施工管理技術に関する最近の動向」をテーマに講習を行いました。



道路建設技術講演会

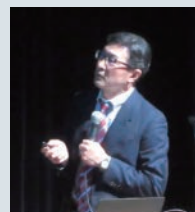


日本道路建設業協会中部支部は、11月14日「令和5年度道路建設技術講演会」を名古屋市東文化小劇場で開催しました。会員企業などから約260人が受講し、災害に備えた道路整備や道路行政の動向を学びました。冒頭、山縣裕支部長は「知見を深め、災害に対する備えや技術力の向上につなげてほしい」と挨拶しました。続いて、岐阜大学の倉内文孝工学部社会基盤工学科教授が「災害につよい道路ネットワークの構築に向けて」、愛知工業大学の横田崇工学部土木工学科教授が「南海トラフ巨大地震に備える」、中部地

方整備局の望月拓郎道路部長が「道路行政の最近の話題」と題し、それぞれ講演しました。



倉内 岐阜大学教授



横田 愛知工業大学教授



望月 中部地方整備局
道路部長

コンプライアンス講習会 (暴力団排除に関する講習会)

日本道路建設業協会では、2017年度からコンプライアンスに関する講習会として、独占禁止法、暴力団排除、労働基準法をテーマとした講習会を開催しています。

中部支部においては、10月19日に名古屋ガーデンパレスで令和5年度コンプライアンス講習会を開催しました。

冒頭、山縣裕支部長は「反社会的勢力に隙を見せると会社がダメージを受ける。道路整備や災害対応など建設業の役割を果たすためにも不当要求への対応は不可欠。講習会を通じて知識を深めてほしい」と述べ会員に企業倫理の確立を求めました。

続いて、公益財団法人愛知県暴力追放運動推進センターの館喜代孝専務理事、愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課の伊藤博康課長補佐を

お招きし、「反社会的勢力による不当要求の現状と対応要領」、「最近の暴力団情勢について」をテーマに講習を行い、約50名が受講しました。





ICT舗装現場見学会

日本道路建設業協会のi-Pavement推進本部では平成29年度からICT舗装工事が直轄工事で導入されたことを受け、ICT舗装技術の普及を目的に、本年度も全国各地で現場見学会を開催しています。

中部支部では9月14日に中部地方整備局が発注した令和4年度23号蒲郡BP豊沢トンネル舗装工事(福田道路(株)中部支店施工)の現場で13名が参加し、ICT舗装に対する知見を深めました。

最初に同協会の片山広報・技術部技術課長より挨拶、国土交通省中部地方整備局名四国道事務所の大熊副所長から蒲郡BP全体の事業概要、整備スケジュールを説明しました。次に見学会では、工事関係者から工事概要を説明した後、トンネル内で進め

ている連続RCコンクリート舗装の現場を見学しました。最後に、福井コンピュータ中部営業所の岡崎氏がBIM/CIM導入した国の動きの説明と、橋脚の3Dモデル作成について実演説明を行いました。



i-Construction技術講習会

12月8日、中部地方整備局と共催で、土木技術者を対象にi-Construction技術講習会を名古屋市東区の中部技術事務所で開催しました。当支部会員企業以外からも応募があり、21名が参加しました。

講習会は、中部地方整備局から中部地方整備局に

おけるi-Construction(ICT施工)の推進について、本部技術委員から舗装のICT施工技術について講義があり、(一社)日本測量機器工業会が地上型レーザースキャナ(TLS)を使った測量と出来形管理について座学と実習を行いました。



建設技術フェア2023in中部 (学生交流ひろば)

最新の技術や工法が一堂に会する『建設技術フェア2023in中部』が、12月6日・7日の2日間、『第11回中部ライフガードTEC2023』と合同で開催されました。昨年に引き続き、名古屋市港区のポートメッセなどや第3展示館を会場に、DX・i-Constructionなど5分野に過去最多の377企業・団体が出展、施設内の出展ブースや屋外展示会場に多くの人を訪れました。

今回のコンセプト「YOUの“推し”を見つけよう! #Z世代」を代表する企画である技術コンペティション「夢をつくるプロジェクト」では、学生から寄せられた各種アイデアのプレゼンテーションと表彰式も行われました。

当協会も「学生交流ひろば」を継続して運営し、道路業界の仕事内容、最新技術や情報、これからの展

望について、2日間で約100名の学生の方々に直接会って説明することで、建設の仕事や技術を理解してもらえたと思います。

新型コロナウイルスが5類へ移行して初めの開催となりましたが、16,040人の来場者を迎え、建設技術の新しい魅力と社会資本整備の必要性を一般の方にも紹介でき、良いイベントになりました。



学生交流ひろば(道建協ブース)

安全パトロール (安全委員会)

安全委員会では、国土交通省中部地方整備局及びNEXCO中日本発注工事の現場において安全点検を実施しています。安全パトロールでは、工事概要説明を受けてから安全点検を実施、最後に良好な事項と是正する事項について報告した後、全体の講評を行い安全対策の更なるレベルアップを図っています。

- **第1回**
令和5年
5月30日(火)
(参加16名)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 名神高速道路春季集中工事
工事名等 小牧IC～一宮IC間(上り線)他舗装補修工事 鹿島道路(株)
一宮IC～一宮JCT間舗装改良工事 大林道路(株)
羽島管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)

参加者

名古屋支社 保全サービス事業部	3名
名古屋支社 羽島保サービスセンター	2名
中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	3名
中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) 羽島事業所	2名
日本道路建設業協会中部支部	6名
- **第2回**
令和5年
9月26日(火)
(参加30名)

実施場所 NEXCO中日本名古屋支社 東名高速秋季集中工事
工事名等 名古屋管内舗装補修工事 世紀東急工業(株)
名古屋管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
豊田管内舗装補修工事 大成ロテック(株)
豊田管内維持修繕業務 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)

参加者

名古屋支社 保全サービス事業部	4名
名古屋支社 豊田保全サービスセンター	8名
名古屋支社 名古屋保全サービスセンター	4名
中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	4名
中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) 豊田事業所	2名
中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株) 名古屋事業所	2名
日本道路建設業協会中部支部	6名
- **第3回**
令和5年
12月13日(水)
(参加9名)

実施場所 中部地方整備局 蒲郡BP
工事名等 令和4年度23号 蒲郡BP五井トンネル舗装工事 大林道路(株)
令和4年度23号 蒲郡BP豊沢トンネル舗装工事 福田道路(株)

参加者

中部地方整備局	1名
名四国道事務所	1名
日本道路建設業協会中部支部	7名

中部緊急防災協会 令和5年度 通常総会

日本道路建設業協会中部支部の会員各社らで構成する中部緊急防災隊は、6月6日、名古屋ガーデンパレスで令和5年度通常総会を開催し、令和4年度の事業活動・決算報告、令和5年度の事業計画・予算などが審議、承認されました。山縣裕本部長は「災害対応など地域の安全・安心を守る事が建設業の使命であり、中部緊急防災隊の果たす役割は大きい。いざという時に求められる役割を果たせるように日頃から十分に備えておく必要がある」と話しました。

■令和4年度 中部緊急防災隊〈役員〉

役職	氏名	会社名及役職
本部長	山縣 裕	(株)NIPPO 中部支店 執行役員支店長
副本部長	両角 勝夫	大成ロテック(株) 中部支社 執行役員支社長
総務部長	國島 太佳生	(株)市川工務店 常務取締役
愛知隊長	中野谷 眞己	大有建設(株) 取締役常務執行役員 建設事業本部長
三重隊長	秦 純二	朝日土木(株) 会長
静岡隊長	平井 美次	中村建設(株) 常務取締役
理事	森 俊二	大林道路(株) 中部支店 常務執行役員支店長
◇	淵上 修	(株)ガイアート 中部支店 執行役員支店長
◇	松居 広	岐建(株) 常務取締役名古屋支店長
◇	神野 晋也	昭和土木(株) 代表取締役社長
◇	松本 辰男	世紀東急工業(株) 名古屋支店 執行役員支店長
◇	難波 陽一	中部土木(株) 代表取締役社長
◇	吉田 和博	東亜道路工業(株) 中部支社 常務執行役員支社長
◇	中井 俊彦	中井土木(株) 代表取締役社長
◇	中川 雄一	日本道路(株) 中部支店 執行役員支店長
◇	峯崎 賢司	前田道路(株) 中部支店 執行役員支店長
監査理事	糸川 和孝	鹿島道路(株) 中部支店 執行役員支店長
◇	宮内 友孝	(株)佐藤渡辺 中部支店 支店長
対策委員長	成瀬 博夫	地崎道路(株) 名古屋支店 支店長
参与	間宮 敏博	世紀東急工業(株) 名古屋支店 技術部長
◇	中森 栄輔	中部土木(株) 常務執行役員 工事副本部長

■中部緊急防災隊〈地区事務局〉

愛知地区	松尾 潤也 大有建設(株)
岐阜地区	上田 幸司 (株)市川工務店
三重地区	濱口 健 朝日土木(株)
静岡地区	三間 洋幸 中村建設(株)
長野地区	清水 博通 吉川建設(株)



中部緊急防災隊式典

日本道路建設業協会中部支部の会員各社らで構成する中部緊急防災隊は7月13日に令和5年度防災隊式典を名古屋ガーデンパレスで開催しました。

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県より隊員ら約150名が集結し、中部地方整備局など災害協定機関に一致団結した行動を披露し、士気を高めました。

山縣裕本部長は「どのような災害に対しても、これまで培ってきた経験を生かして対応し、社会に貢献する。緊急連絡体制の強化や資機材の点検・確保などを充実し、迅速、的確な対応をお願いする。」と訓示をしました。

続いて来賓の桑昌司中部地方整備局統括防災官と黒川修治日本道路建設業協会環境・安全委員長

が祝辞を述べました。最後に中野谷眞己隊長が綱領を朗読し、機動力と技術力を持って公共の福祉に寄与することを誓いました。

式典後、能島暢呂岐阜大学教授に「過去の地震災害の教訓に学ぶ」をテーマに講演して頂きました。



防災訓練

防災訓練で連絡体制確認

中部緊急防災隊(山縣裕本部長)は防災の日の9月1日に愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県内で防災訓練を実施しました。

訓練は、午前8時30分に和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震発生を想定、午前9時に日本道路建設業協会中部支部の会議室に災害対策本部を設置し、伝達方法や報告作業などの情報連絡体制を確認しました。



訓練の具体的な内容として、本部長の指示を5県の地区事務局に伝達し、それぞれ管内各班(全16班)と連絡系統を確認した後、本部に確認と報告をする訓練を行いました。また各班では、給水タンクの架台組み立てや倉庫内の資機材の点検、保管状況を確認しました。

中部緊急防災隊は、災害などの緊急時に道路管理者に協力して道路路面の確保などの緊急・応急対応に従事します。



大規模津波防災総合訓練

2011年3月に発生した東日本大震災を教訓として、津波対策を総合的かつ効果的に推進するため、同年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。同法では、津波対策に関する観測体制の強化、調査研究の推進、被害予測、連携協力体制整備、防災対策の実施などを規定するとともに、11月5日を「津波防災の日」と決めました。

令和5年は国土交通省、愛知県、名古屋市及び名古屋港管理組合主催、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議共催により、関係機関が連携し、地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図るため、行政機関を始めとする56機関が参加して11月11日に名古屋港ガーデ

ンふ頭において、大規模津波総合防災訓練が実施されました。

当協会においては、中部緊急防災隊、自衛隊、NEXCO及び中部地方整備局名古屋国道事務所と共に路面段差解消訓練を実施しました。訓練内容は、覆工板を敷いて段差を作り、常温合材を用いて限られた時間で段差を解消するものでした。その後、緊急車両が段差解消後の路面を走行し、訓練は無事終了しました。

訓練参加者は、支部長(中部緊急防災隊本部長)、安全委員(中部緊急防災隊対策委員長)及び中部緊急防災隊名古屋南班長ら7名です。



日本道路協会 道路功労者表彰伝達式

道路功労者表彰式は、過去に日本道路建設業協会から技能社員表彰を受賞された方の中から各支部が本部に推薦し、日本道路協会で決定された方への表彰で、毎年8月10日の「道の日」に合わせて表彰伝達式を実施しています。

今年は中部支部から6名の方が受賞され、8月24日に伝達式を行いました。

【受賞者】

大林道路株式会社	山崎義宏 様
大成ロテック株式会社	佐竹昭夫 様
東亜道路工業株式会社	新谷延芳 様
東亜道路工業株式会社	田川 誠 様
花菱建設株式会社	石田 太 様
前田道路株式会社	増田孝一 様

道建協の社会・環境貢献活動

令和5年度 道の駅 授乳室・授乳チェアの贈呈

〈道の駅のベビーコーナー設置率50%超に向けて〉

日本道路建設業協会は、一般社団法人全国道の駅連絡会と連携し、国土交通省が推進する道の駅「子育て応援」施設の整備支援として全国の道の駅のベビーコーナー設置率50%超を目指し、令和5年から3年間で全国の道の駅150駅に授乳室と授乳チェアの拙とを寄贈します。

令和5年度は11月から中部支部管内の8カ所の道の駅に授乳室・授乳チェアを贈呈しました。このうち6カ所の道の駅では自治体代表者、道の駅駅長、

県の道路管理担当者及び中部地方整備局の事務所長らのご出席を賜り各道の駅で贈呈式を行いました。

贈呈を受けた自治体代表者からは、授乳室などがあるベビーコーナーを設置することにより、子育て世代の皆様にも安心して訪れていただける施設としてご利用いただければありがたいなどのご挨拶を頂きました。

【令和5年度 授乳室寄贈先】

- ① 場 所: 揖斐川町 星のふる里ふじはし
贈呈式: 令和5年11月13日(月) 14:00~
- ② 場 所: 藤枝市 宇津ノ谷峠(藤枝側)
贈呈式: 令和5年11月17日(金) 15:00~
- ③ 場 所: 伊那市 南アルプスむら長谷
贈呈式: 令和5年11月20日(月) 9:30~
- ④ 場 所: 白川村 飛騨白山
贈呈式: 令和5年11月24日(金) 13:00~
- ⑤ 場 所: 白川村 白川郷
贈呈式: 令和5年11月24日(金) 14:10~
- ⑥ 場 所: 高山市 ななもり清見
贈呈式: 令和5年11月24日(金) 15:30~
- 場 所: 松阪市 飯高駅
令和5年12月22日(金)
- 場 所: 御浜町 パーク七里御浜
令和5年12月23日(土)



会員だより

ヨーロッパ旅行記 (株)エコワーク 工事部 ミイントー トーハン

本や映画から影響を受け、小さい頃からヨーロッパやアメリカに行くことが私の夢でした。そして今年、会社で旅行補助金制度があり、念願のヨーロッパへ行くことが出来ました。旅の目的は「世界の美しさと多様性について学ぶ」「新たな冒険と経験」です。

最初は中央ヨーロッパと呼ばれるチェコ共和国です。美しく歴史のあるプラハ城を訪れ、カレル橋から夕日のプラハを眺めました。プラハはヨーロッパで最も有名な都市の1つであり、歴史的な町、おとぎ話のようなお城、美しい公園・建築物がたくさんあります。他と比較してプラハは最も手頃な物価の首都であり、住みやすい場所でした。



チェコ
プラハ城と私



ドイツ 秋のローテンブルク



ミュンヘン
お土産店



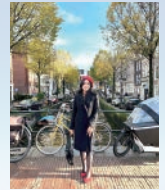
ミュンヘン
クリスマスナイトマーケット

印象を受けました。

続いてはオランダの美しい都市アムステルダムへ。この街はカラフルで活気に満ち、運河システムが有名で、サイクリング文化が進んでいました。自転車用道路が整備され、

明確な標識があり、道路と自転車用道路の交差点では自転車優先になっている場所が多かったです。

そしてスイスへ。私がヨーロッパで一番旅したい国でした。インターラーケンとラウターブルンネンで、絵のように美しい風景、



オランダ
アムステルダム



スイス
インターラーケン



スイス
ラウターブルンネン

魅惑的な湖とスイスアルプスに魅了されました。物価が高い国ですが、それに見合うユニークで忘れられない体験ができました。しっかり計画して予算を組めば、お金を使いすぎずに楽しむことができ

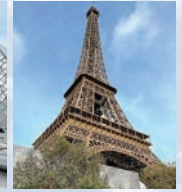
ると思います。

最後にフランスのパリ。国立美術館であるルーブル美術館に行き、夕方にはエッフェル塔に登り美しい街を一望でき最高でした。通り沿いにあった、手頃な価格なのに高品質なお土産店「ギフトショップ」は忘れられないと思います。

合計5ヶ国を訪問し、その土地独自の文化、料理、歴史を体験し、異なるライフスタイルがあることを知り、自分の視野を広げられました。異なる人種や肌の色を持つ人々を受け入れることも教えてくれました。



フランス
ルーブル美術館



フランス
エッフェル塔

このことは仕事にも繋がっており、現場監督として前より自信を持つようになりました。様々な困難を乗り越え、安全でより楽しい現場環境になるよう、もっと頑張りたいと思います。

編集後記

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されたのが四年前の2020年1月15日。中国で何やら新しいウイルスが蔓延しているという話を耳にしてから程なく日本にもその波が訪れました。その騒ぎもすぐに収まるかと思いきや、その後は季節が変わるごとにアルファ、デルタ、オミクロン云々と次々に新たな変異ウイルスが登場し、私たちは目に見えないウイルスを相手に戦いを強いられることになり、私たちの業界においても多かれ少なかれいろいろな形で影響ができました。2023年5月8日、5類感染症に移行し共存のフェーズへ移り、ワクチン接種の効果がどれほどのものであったかについてもはっきりとわからないままに、「感染対策」という念仏を唱えることを除いては、以前ほど見えない相手に怯えた生活を送ることもなくなり、ほぼこれまでの日常に戻ったのではないのでしょうか。

そんななかNHKの大河ドラマでは徳川家康の物語が放送され、東海地区は盛り上がりを見せました。ドラマの中では戦国時代を駆け抜け太平の世をつくるために戦いを続けるという、戦乱の世に対するアンチテーゼを戦乱によってのみ証明せざるを得なかった家康の苦悩する

姿が随所に見受けられました。ゆえに齢を重ねた彼は慈愛に満ちた姿で表現されていたのだと思います。私たちも小さな「どうする」を毎日積み重ねています。苦悩することがあれば心が晴れることもありますし、コロナ禍での閉塞した日々における「どうする」もこの時にしかできないことでしたが、その「どうする」の積み重ねは人生に深みをもたらしてくれるはずで

ところでは家康たち戦国武将が大軍を率いて進んだあとは、どんな光景が広がっていたのか。きっとそこには草木が踏みならされて立派な道ができていたのではないのでしょうか。そして人に踏みならされた道はやがて整備されそれ自体に価値が生まれます。道が開けば人が行き交い、人が行き交えば街が繋がります。街が繋がれば地域が発展します。私たちは人々の生活を支える形の見える仕事をしています。たくさんの人々に目に見える安心を届けられる存在であることを自負し、そうであるために研鑽を積み、その結果自分たちの生活がもっと豊かで価値あるものになる、そんな一年になるよう祈念しています。

広報委員 服部

連絡先

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

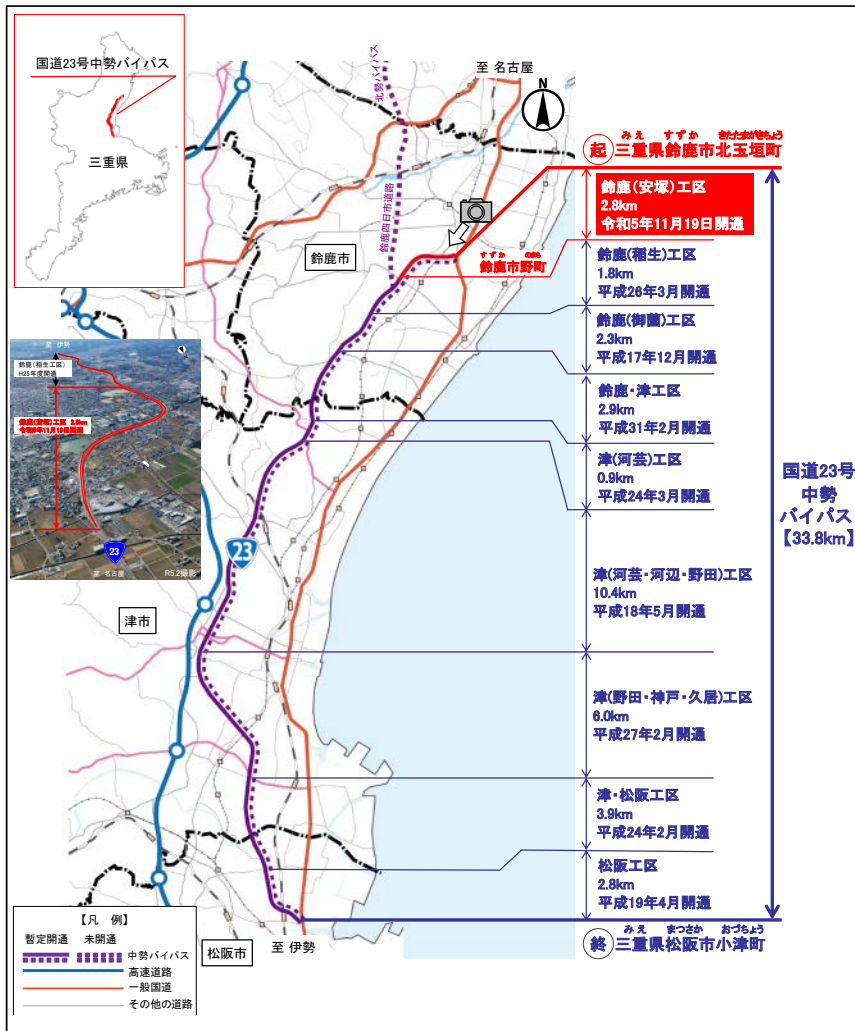
●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375
●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

道路開通

Road opening of traffic

●令和5年11月19日(日)
国道23号 中勢バイパス(鈴鹿(安塚)工区)(約2.8km)

三重県鈴鹿市北玉垣町 から 鈴鹿市野町



▲ 開通式

開通!



一般社団法人
日本道路建設業協会中部支部